

平成 30 年度 吹奏楽部の指導方針等について

平成 30 年 4 月 2 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・吹奏楽の演奏を通して、部員同士の交流を深め充実した高校生活を送る。
- ・普段の練習を通して、努力を継続する力を養い、達成感による自己の肯定・集団への帰属意識の醸成を図る。
- ・様々な発表の場を通して、表現力や責任感を身に付ける。

3 指導方針

- ・目標を達成するため、計画を立て実行する力を身に着ける。
- ・挨拶、返事をするなど、規範意識を身に着ける。
- ・先輩・後輩が互いに尊敬しあい思いやれる人間関係をつくる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・学校が主体となり生徒の安全に努める。

(2) 生徒間の暴力（言葉の暴力・いじめを含む）の禁止

- ・生徒間の問題解決を暴力行為で図ることの内容指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

- ・教育活動の一環として教員が中心となり生徒の健全な成長を促す活動となるよう努める。外部指導員にも体罰・暴言のない望ましい指導となるよう徹底する。

5 実績

- 4 月：入学式 新入生部活動紹介 新入生歓迎演奏会
- 5 月：体育祭
- 6 月：バンドフェスティバル（於：府中の森芸術劇場）
- 7 月：合宿（2泊3日）
- 8 月：東京都高等学校吹奏楽コンクール
- 9 月：文化祭
- 11 月：東京都高等学校文化祭 音楽部門地区大会（第 4 地区）
- 1 月：東京都高等学校アンサンブルコンテスト
- 3 月：卒業式 定期演奏会

平成30年度 演劇部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- (1) 部活動の活性化を目指す。
 - ① 基礎・基本の習得に重点を置き、練習計画を立てる。
 - ② 興味関心を持って取り組めるように工夫する。
 - ③ 目的意識と自ら進んで取り組む行動力や、継続する大切さを日々の練習の中で養う。
- (2) 都大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 参加できる主要な各種大会にはすべて出場し、技術力の強化を図るとともに、役者としての自信をつける。
- (4) 夏季合宿を通じて演技力や表現力の向上を図るとともに、集団行動を通して社会性を養う。

3 指導方針

- (1) 練習は原則週3～4日とし、練習時間は平日2時間半～3時間、休日は3時間を基本とし集中して取り組む。
- (2) 大会に日程から逆算し、練習計画を立て、効率よく練習を行う。
- (3) 各週の初めと終わりには必ずミーティングをし、計画の進行状況を確認しながら活動する。
- (4) 基本的な生活習慣や規範意識の健全育成を目指し、挨拶の励行、授業に集中する態度等、自ら進んで行動し、他の生徒の模範となるようにする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。また、担当顧問だけではなく、生徒とも体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
生徒間における暴力行為及び暴言の行為を一切行わないように日頃から指導をする。
- (3) 外部指導員の活用
活用しない。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 実績

平成30年度 クッキング部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問				
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・生徒が部活動に主体的に取り組み、活動を通じバランスの取れた人間性を育成できるように指導して行く。
- ・和洋食・製菓の実習を通して技術の向上に励む。
- ・文化祭の展示に向け、全員で協力して作品を制作し、日ごろの成果の集大成とする。

3 指導方針

- (1) 実習は、原則週に2日間とし、限られた実習時間に集中して活動できるように指導する。
- (2) 生徒が自主的に献立準備・購入等を行い、部員相互が協力して活動できるように指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
活用なし

5 実績

特になし

平成30年度 茶道部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・茶道の精神、おもてなしの心を磨き、技術の向上を目指す。
- ・文化祭やマロニエ祭りに参加しお茶会を開催する。

3 指導方針

- (1) 各学年の生徒全員が茶道を通し心を磨く。
- (2) 行事に向けて協力し合う。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

上下関係で体罰はもちろん暴言等がないよう指導する。

(2) 生徒間の暴力禁止

今までも皆無であり今後も続ける。

(3) 外部指導員の活用

元教員であり学校生活の中での茶道について指導していただいている。

5 実績

- ・毎年5月、地域で行われるマロニエ祭りに参加しお茶会を通し地域の方と触れ合っている。
- ・文化祭ではお茶会を開催し校内のみならず、外部のお客様をもてなし、日本文化の継承に役立っている。

平成30年度 漫画研究部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・画力向上を目指す。
- ・漫画を通じて多くの人に感動を与えられるよう取り組む

3 指導方針

- (1) 授業をはじめ部活動以外の学校生活を第一に取り組ませる。
- (2) いつも周囲に感謝して物事に取り組ませる。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
これまでもこれからも、心の通う指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止
知識・技能を高め合い、互いに尊重しあって活動する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 実績

特になし

平成30年度 ファッション部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・生徒自身が主体的に活動をし、衣装制作の基本的な知識と技術を身につける。
- ・9月に行われる文化祭の舞台発表でファッションショーを企画・運営する。

3 指導方針

- (1) 個人や共同で衣装を製作する。
- (2) 生徒自身が主体的に活動できるよう、コンクール等の情報を提供する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導を行う旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 実績

特になし

平成 30 年度 箏曲部の指導方針等について

平成 30 年 4 月 2 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

本校の学校説明会や文化祭、地域のマロニエ祭、冬の東京都高等学校文化連盟・日本音楽部門の発表会などでの合奏の披露を目標の一つとし、自らの実力を冷静に把握し、部員がともに切磋琢磨することで、日々精進する体験を積み重ねさせる。

3 指導方針

日々、個人としての技術の上達と、ともに演奏する部員同士で音と心をあわせることによって、目標に向かって努力することと自らの力の向上を実感させる。

志を同じくする者どうしが、切磋琢磨し、小さな達成感を積み重ねることによって、着実に実力を伸ばす体験をさせる。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

「礼に始まり礼に終わる」を主軸として、技術面の向上のみならず、自他を尊重する心を育成する。

(2) 生徒間の暴力禁止

互いに、礼節と思いやりを持って、部活動に励む。上級生から下級生に威圧的な言動がないよう、また、下級生が上級生にわがままな言動をすることのないよう、指導する。

(3) 外部指導員の活用

創部以来の指導員に、本校生徒の実力にあった専門的な技能と心得の指導を依頼する。

5 実績

(1) 校外での発表会

5月13日(日) マロニエ祭 舞台部門 参加

11月23日(金) 東京都高等学校文化連盟日本音楽部門 中央大会 参加

(2) 校内での発表会

4月部活動紹介にて演奏。

9月8日(土) 忍祭 舞台発表 参加。

10月、11月の学校説明会での練習風景の公開。

2月授業成果発表会。

平成30年度 軽音楽部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・生徒自身が主体的に活動をし、演奏の基本的な技術を身につける。
- ・年数回はライブに参加し、日ごろの成果を披露する。

3 指導方針

- (1) 生徒自身が主体的に活動できるよう、コンクール等の情報を提供する。
- (2) 各バンドで練習をし、ライブ等で互いの演奏を聴き講評を行うなどしながら技術の向上を目指す。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導を行う旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 実績

特になし

平成30年度 パソコン部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・生徒自身が主体的に活動に参加し、活動を通して知識や技能の修得だけでなく、情報モラルについて理解・実践できる人間性を育成していく。
- ・ソフトとハードの両面から計算機に関する知識や技能の向上を図る。

3 指導方針

- (1) パソコンを用いて、授業では経験できないようなプログラミングや情報処理試験等に関する内容について理解できるように指導する。
- (2) 生徒が主体的に活動内容を決め、実行していくように指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導を行うように徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
実際の暴力だけでなく、情報メディアを介するような誹謗や中傷などがないように、日々の指導で徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
活用なし。

5 実績

特になし

平成30年度 文芸部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・部誌発行を通して創作活動をおこない、意欲をたかめる。
- ・作品創作を通して種々の知識・社会的道義心一般を習得する。
- ・他部員の作品を評価しあうことで、コミュニケーション能力をたかめる。

3 指導方針

- (1) 各自の創作活動を通して個々の知識・意欲をたかめる。
- (2) 部員相互の人間関係を構築するように指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
創作活動は言語活動であるため、道義的な意識を高めるようにする。
- (2) 生徒間の暴力禁止
言葉による暴力、物理的・身体的暴力が発生しないように注意を促す。
- (3) 外部指導員の活用
予定なし

5 実績

特になし

平成30年度 放送部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・年2回の大会（NHK杯と高文祭）に出場し決勝進出を目指す。
- ・体育祭・文化祭で放送の任務を果たし、校内放送（下校放送）を行う。

3 指導方針

- （1）部員と協力して校内の放送任務を行うよう指導する。
- （2）アナウンスや朗読の技術向上を目指して日々練習を行う。

4 指導内容・方法

- （1）体罰・暴言等のない指導
具体的な練習メニューを示して取り組ませる。
生徒たち自ら練習メニューを考えてそれに取り組む。
- （2）生徒間の暴力禁止
生徒同士で協力して放送の仕事の分担を行う。
- （3）外部指導員の活用
外部で生徒向け研修があるので希望生徒は参加するよう指導する。

5 実績

年2回の大会に出場（NHK杯、高文祭）
体育祭の放送係
文化祭の体育館での催しのアナウンス係

平成30年度 英語部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・JETの先生を通して英語圏の文化に慣れ親しむ。
- ・授業では経験できないような英語によるゲーム・ビデオ鑑賞によってより高度な英語力を習得する。

3 指導方針

- (1) JETの先生とともに英語学習の楽しい環境を整える。
- (2) 英語学習のみならず、英語圏の文化・歴史に触れるようにする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
和やかな雰囲気作りを心掛ける。
- (2) 生徒間の暴力禁止
生徒間とはいえお互いを尊重し合える関係性を身につけさせる。
- (3) 外部指導員の活用
なし
ただし、JETを除く。

5 実績

次世代リーダープログラムに過去二名留学実績あり。(アメリカ合衆国・ニュージーランド)

平成30年度 ガーデニング部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- (1) 季節の草花や野菜、ハーブを楽しみながら育てる。
- (2) ハーブや野菜、梅の実を収穫し、加工品を作ったり、料理等に利用する。

3 指導方針

- (1) 作業を通して、校内の美化に努めるように指導する。
- (2) 活動日は毎週月曜日と金曜日。ただし、季節や天候によりその他不定期に活動を行う。
- (3) 活動場所は、介護室（ミーティング）、正面玄関、蓬萊園、校舎周辺とする。
外での作業は活動しやすいジャージ着用とする。
- (4) 日常の水やり当番と長期休業中にも、水やり当番や文化祭に向けての活動を指導する

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
 - ・丁寧な話し方を心がけ、体罰・暴言の無い指導を徹底していく。
- (2) 生徒間の暴力禁止
 - ・上級生から下級生、同級生同士の間で暴力による問題解決を図ることのないよう、指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
 - ・活用なし。

5 実績

- ・特になし

平成30年度 百人一首部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- (1) 畳の上で行う競技であるため、規律を守った上で練習に臨む。
- (2) 大会に参加し、実力の向上に努め、競技を楽しみつつ段位を目指す。

3 指導方針

- (1) 今年度も東京都高等学校かるた連盟に加盟した。
そのため、積極的に校外での大会に参加していく。
- (2) 大会へ参加するにあたって、恥ずかしくないよう実力向上に向けて日々努力する。
- (3) 練習は月～金とし、基本的に月曜日・水曜日は和室、それ以外は介護室にて行う。
- (4) 長期休業中に他校との合同練習などに参加し、指導を仰ぐ。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
今年度は外部指導員による指導の予定はないが、外部指導員をお招きした場合においても、体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。

5 実績

特になし

平成30年度 放送部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・ 様々な分野の作品制作を通して、表現技術や道具の使い方を学ぶ。
- ・ 制作や部活動運営を通して観察力・想像力を養う。
- ・ 互いの作品を鑑賞し合い、意見交換することでコミュニケーション能力向上を図る。

3 指導方針

- (1) 限られた制作時間の中で効率的な制作活動ができるよう指導する。
- (2) 生徒が協力して制作予定の立案や制作準備の実施を自主的に行うよう指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導をおこなう旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、部員間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 実績

文化祭での個人作品および共同作品展示

平成30年度 物理部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・天体観測会を2回行う

3 指導方針

- (1) 安全に注意する。
- (2) いつも周囲に感謝して物事に取り組みさせる。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
しっかりと心を通わせる指導を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止
知識・技能を高め合い互いを尊重しあって活動する。
- (3) 外部指導員の活用
なし。

5 実績

特になし

平成30年度 写真部の指導方針等について

平成30年4月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧				
副顧				
副顧				

2 年間目標

- ・生徒自身が主体的に活動をし、写真撮影の基本的な知識と技術を身につける。
- ・年間を通して、発表の場を設ける。

3 指導方針

- (1) 生徒自身が主体的に活動できるよう、コンクール等の情報を提供する。
- (2) 個々で写真を撮影し、水曜日のミーティングで作品をもちより、互いの作品を見ての講評や展示の仕方などを検討する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問間で体罰・暴言のない指導を行う旨、徹底する。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員に対し、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
なし

5 実績

特になし